

歯科のアレルギー

アレルギー性鼻炎

アトピー

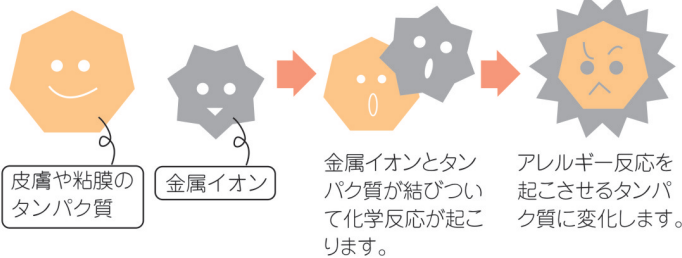
喘息

食物アレルギー

など、身近な**アレルギー症状**。

気管支喘息が国民全体では約800万人、花粉症を含むアレルギー性鼻炎は国民の40%以上、アトピー性皮膚炎が国民の約1割と、全人口の約2人に1人が何らかのアレルギー疾患に罹患していると推定されているそうです。アレルギー疾患に関する研究は進んでいますが、その免疫システム・病態はいまだ十分に解明されていません。

アレルギー症状のひとつに金属アレルギーがあります。アクセサリなど皮膚に接した金属が汗などの影響でイオン化し溶け出し、体内のタンパク質と結合しアレルギーとなることで生じるアレルギー反応です。



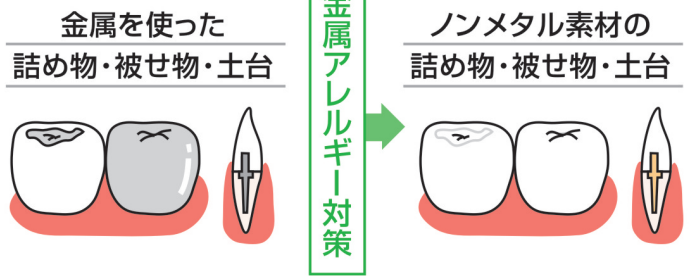
この金属アレルギーはお口の中でも起こります。

むし歯などの治療で行った詰め物や被せ物の金属が、唾液、食物、細菌が出す酸など様々な影響でイオン化し溶け出すことで起こります。

症状としては口内炎、口唇炎、舌炎、味覚異常などお口の中の症状だけでなく、アレルギーが唾液を通じて血液に流れ込み全身に運ばれ、全身に症状が現れる場合もあります。

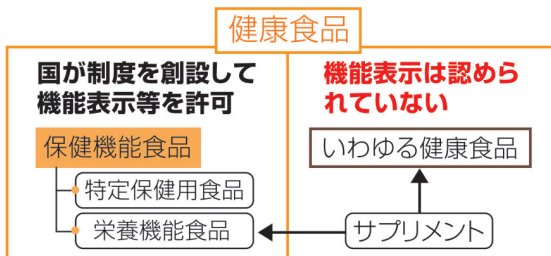
※全ての方に症状がでるわけではありません。

残念ながら日本の保険治療では、詰め物・被せ物、被せ物の土台は金属を使用します。部分入れ歯を固定するためのバネも金属です。**金属アレルギーが心配な方は、金属を使わない治療(ノンメタル治療:保険適用外)もあります。**最近では金属アレルギー対策として、過去の治療で行った詰め物や被せ物をセラミック製にやりかえる方もいます。



健康食品は上手に活用

バランスの良い食事を心掛けていても、乱れがちな栄養バランス。健康維持、美容、ダイエットのためにサプリメントなどの健康食品を活用されている方も多いと思います。皆さんよくご存じだと思いますが、健康食品は「国が特定の機能表示などを許可したもの(保健機能食品)」と、そうでないもの「いわゆる健康食品(一般食品と同じ分類)」の2つに分けられます。



保健機能食品には下記の2種類があります。

■特定保健用食品(トクホ)

消費者庁が商品別に有効性や安全性等について審査し、承認したもの

■栄養機能食品

トクホとは違って定められた規格基準に適合していれば、国への許可申請や届出なしに製造者が各々の責任で「栄養機能食品」と表示し、消費者庁が指定した栄養成分の機能を表示できる食品

健康食品の中には過剰な広告をしたものや類似した商品もあります。選ぶ際は十分に検討しましょう。

健康食品選びで気をつけたいポイント

天然のものだから安心

天然由来だから必ずしも安全・安心というわけではありません。天然由来の成分を使った製品でもアレルギーを起こすことがあります。

健康食品で病気が治る

健康食品で病気が治ったことを明確に示した研究結果は現時点ではありません。薬を服用している場合は、薬の効果を強めたり弱めたりすることもありますので注意が必要です。

専門家が推薦している

専門家1人だけの評価ではなく、複数の専門家による評価が重要です。他にも「特許番号」「受賞歴」など製品の有効性とは無関係な情報、テレビや雑誌などマスメディアの情報にも注意しましょう。

有効成分が入っている

「成分の情報」と「製品の情報」は必ずしも一致するとは限りません。特定成分を含む原材料に有効性があっても、製品になる段階で「原材料の品質」「添加される材料の影響」「不純物の混入」など様々な影響を受けることがあります。「有効成分=個別の製品」と考えることはできません。

動物実験で効果が証明

「動物実験や細胞実験で効果があった」といった宣伝をした製品もありますが、動物と人では成分の消化吸収、感受性などが異なります。